

^ 13
3180
2



門へ 13
3180
巻 2

麻栗も五編序

歌人 居りし 名所を

志 雅人 行て 名不 伝

探る 今年 五編

猿栗も十編

昭和 十年 六月二十五日 購

主人の筆をからからく
くろがけえれを伴舞の
子尋の廣小深くうからく
酒を花ある貝老し古語を
温て新くも趣向をとんず家

筆入すさふも床あから
名ふを走己馬を移る款よて
言す家あし是作者の需小
意してといふ其の皮毛し笑し
やぬ子筆を採し毛除へ

くまの
まの八月老を
松子
うせくを
やぐ



尾
振
田
五

い
ま
の
本



か毎が情^{まはげ}あやレ^こ。ま^まら^らく^くす^す。可^たし^し船^{ふね}に^に立^たて^て

るの^のん^んせん^{せん}と^とよ^よら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。ん^んん^んの^の面^{おもて}あ^あす^す

申^{まを}す^すら^らし^しよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

あ^あら^らし^しめ^めば^ばよ^よ。一^いつ^つも^も一^いつ^つも^もの^のい^いづ^づれ^れに^に

しんやうらうのけ

やろふら^ひらめりぢある。し一たも。高素^きは^らひ^らめ^りの^けに^ん
 ありふ^りて^りけんませ^ぬせ^りく^み面^でめ^りて^り人^せん^は
 二^いな^らぶ^もま^なう^くり^して^いた^にも^もい^んで^ある^まん
 そ^一く^は日^ぬま^せる^にせ^いに^かく^めん^どを^けら^し
 ま^らせ^りる^より^まく^して^おこ^まり^のい^んて^や
 一^れの^うち^のま^まう^まり^のま^まう^くす^くす^くの^いし^の
 一^えま^もた^りか^こり^のも^うく^くる^まも^のし^まう^の
 一^がら^ある^まる^もの^うち^のま^まに^はあ^らは^せる^まま^く

一^れの^うち^のま^まう^まり^のま^まう^くす^くの^いし^の
 一^がら^ある^まる^もの^うち^のま^まに^はあ^らは^せる^まま^く
 一^れの^うち^のま^まう^まり^のま^まう^くす^くの^いし^の
 一^がら^ある^まる^もの^うち^のま^まに^はあ^らは^せる^まま^く
 一^れの^うち^のま^まう^まり^のま^まう^くす^くの^いし^の
 一^がら^ある^まる^もの^うち^のま^まに^はあ^らは^せる^まま^く

一^れの^うち^のま^まう^まり^のま^まう^くす^くの^いし^の
 一^がら^ある^まる^もの^うち^のま^まに^はあ^らは^せる^まま^く

一^れの^うち^のま^まう^まり^のま^まう^くす^くの^いし^の
 一^がら^ある^まる^もの^うち^のま^まに^はあ^らは^せる^まま^く

一^れの^うち^のま^まう^まり^のま^まう^くす^くの^いし^の
 一^がら^ある^まる^もの^うち^のま^まに^はあ^らは^せる^まま^く

あまのさき
里川

中へぬも

素久らと

い

さき
名の

とる物
まけそ

い
里川

湯場

蛙
面水

日水川

今

あまの

さき

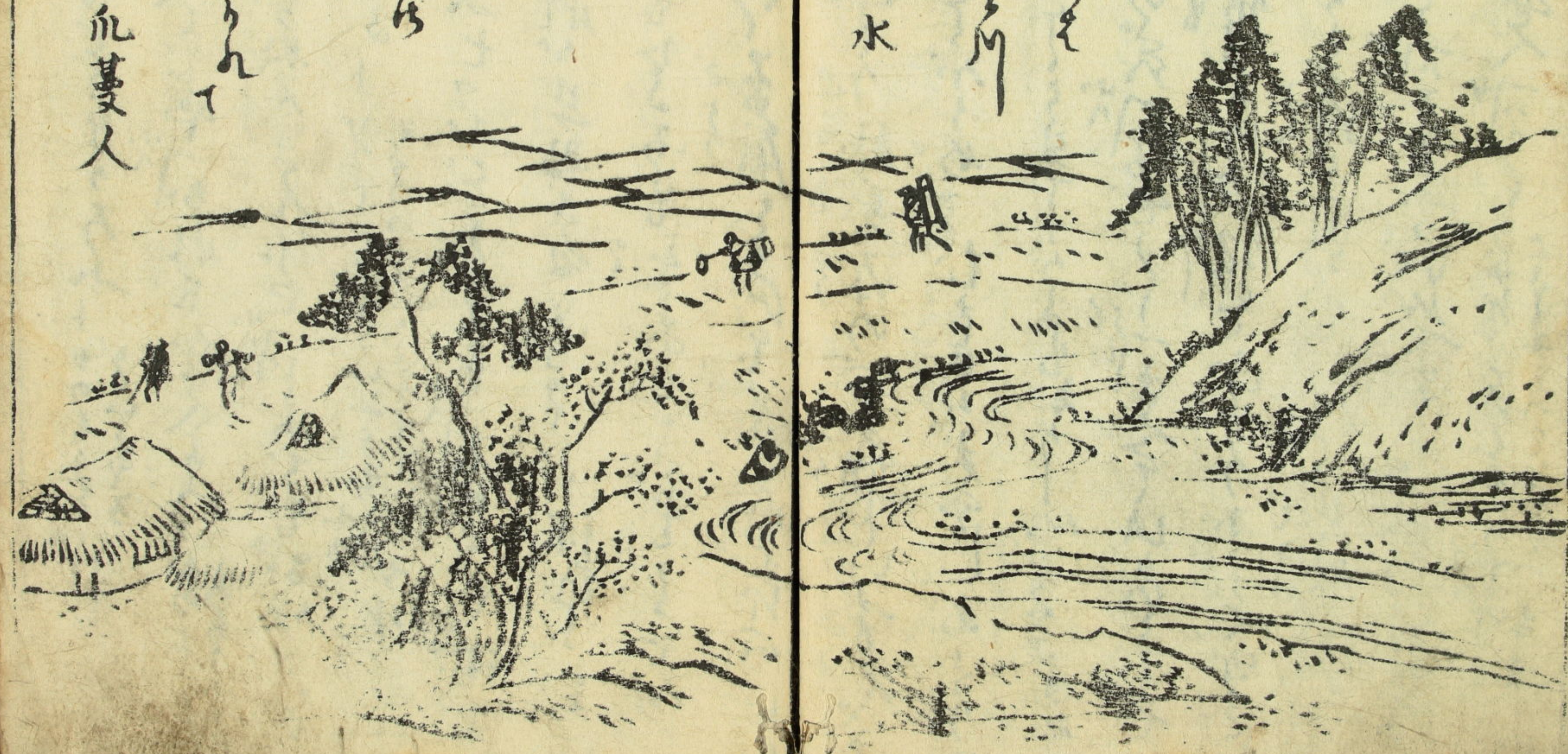
日水川
さき

あまの
日水川

あまの
うりね

全

南
瓜
蔓
人



とるがうぢらる。なとらつらうん^トのちうて^トのちうて^ト

とるら。ゆ^戯ちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

トよとんせとらぬ人さんよ^トのちうて^トのちうて^ト

やましくま^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

わん^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

おれ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

ひ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

お^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

わ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

あ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

あ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

あ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

あ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

あ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

あ^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^トのちうて^ト

くつせらる。そくはも菓^ハも出^ハく。コクヤ^ハも

てもおろま^ハり。別^ハは季^ハ代^ハと或^ハ百^ハ中^ハの^ハはりの^ハ。

やうも^ハ中^ハあ^ハん^ハ。大^ハ行^ハ本^ハの^ハも^ハの^ハ。

その^ハはりの^ハで^ハは^ハま^ハら^ハが^ハら^ハか^ハこ^ハま^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

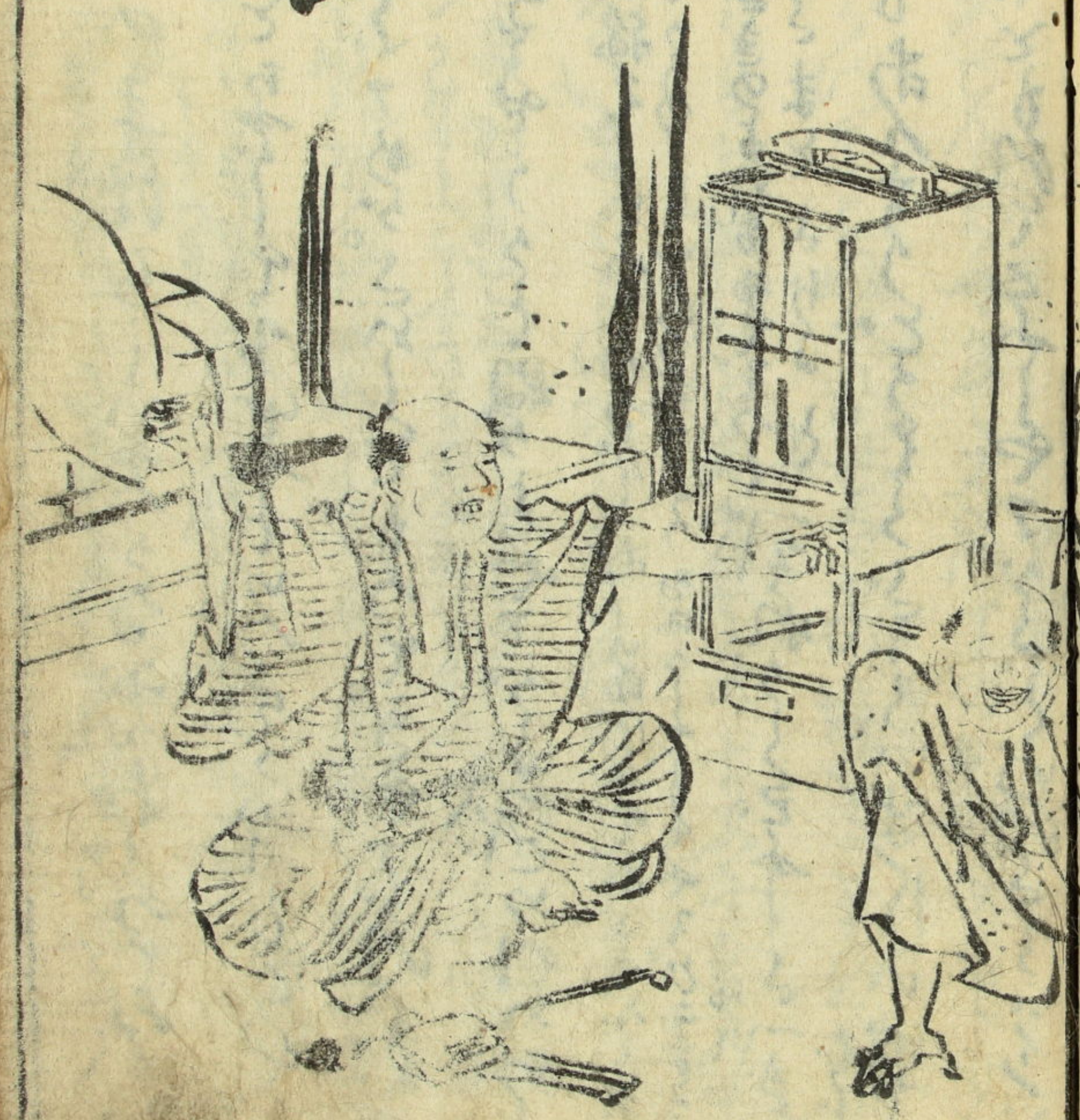
お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。お^ハの^ハち^ハら^ハ。

木俵の
経子
一樽の
うら
き



尾陽
梧島舎
潤上鎖
化生の
行も
あ



あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

おがごの年増ら〜^{アノト}

己^{セウ}脊中とちがご〜

むらゝのたご〜

と。あ〜^ヤ

むち〜^カ

らんで〜^カ

ら〜^カ

これおれもあ〜^カ

ち〜^カ

ぬ〜^カ

う〜^カ

あ〜^カ

ぶ〜^カ

あ〜^カ

あ〜^カ

あ〜^カ

あ〜^カ

ちるおちるしりたてまをささくさくさくさくさくさくさく
 おしりさすせりささくさくさくさくさくさくさくさくさく
 まるくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 せ。ちんせくのおしりさくさくさくさくさくさくさく
 まさす。さくさくさくさくさくさくさくさくさく
 よさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 しちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちち
 まるおちるしりたてまをささくさくさくさくさくさく

おしりさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 まるくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 せ。ちんせくのおしりさくさくさくさくさくさくさく
 まさす。さくさくさくさくさくさくさくさくさく
 よさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 しちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちち
 まるおちるしりたてまをささくさくさくさくさくさく

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is arranged in several lines, with some words written in larger, bolder script. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in Arabic script, continuing the text from the previous page. The script is dense and fills most of the page. There are some marginal notes or corrections visible on the left side of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be in a different script or dialect than the main body of text. The text is somewhat difficult to decipher due to the cursive style and the age of the document.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be in a different script or dialect than the main body of text. The text is somewhat difficult to decipher due to the cursive style and the age of the document.

大あんこし中 一 ちやまアムアム 一 ちよくしたあア。ゆだこの
あて ちやまアムアム 一 ちよくしたあア。ゆだこの
ちやまアムアム 一 ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの

け内みぎ一ふりぬるや一ゆらゆらしたせのあてうがたあるあてよう
せんがらのちやまアムアム 一 ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの

ちよくしたあア。ゆだこの
ちよくしたあア。ゆだこの

追分茶屋物語
 日々茶返皮器
 莫怪價高少好
 元是箱中砂半
 道

名號追分茶屋

尾跡
 五更茶



追分十

子
 子

子

子

子

全
 燈
 元暗



カ
コレはあつちやア。そのまんぢうを誰あつちうつ
コリヤはあつちで。こんびくまらうの人が殺うけ
す。引はもんちう。おりのあがくつとて名を
が。であらうとてぬらうまやア。うらましく
あつちてあつちのあつちうカバら。おいらも神を
かんうてあつちをせ入。えんまろちがまぬけ
そぬてうてあつちまうとてあつちのあつち
おれとあつちのあつちあつちのあつちのあつち

あつち入。あつちうとてうとて

あつち入。あつちうとてうとて
あつち入。あつちうとてうとて

あつちのあつちうとて。初尾まうぬて

あつちのあつちうとて。初尾まうぬて

あつちのあつちうとて。初尾まうぬて

あつちのあつちうとて。初尾まうぬて

あつちのあつちうとて。初尾まうぬて

あつちのあつちうとて。初尾まうぬて

一升ぶけとわらんまはさ^ほま^ほい^ほののま^ほらん^ほらん^ほらん^ほ
とま^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほ
りせらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほらん^ほ

高橋 孫 雲 毛 五 巻 上 巻

刺類の 吟 巻 上 巻

